

＜本年度の目標＞

- ・今年度の重点として、広沢小の子供たちに付けたい力である課題対応能力の育成に向けて、一緒になって取組を考えていきたい。
- ・コミュニティ・スクールの具体的な取組を地域に発信し、充実した活動を行うための人材発掘の強化を続けていく。教師のサポートに地域人材を活用することで、教師の働き方改革を図っていく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長から令和6年度学校運営の基本方針について説明があり、委員全員が異議なく承認し、学校の教育目標や課題を共有することができた。
- 学校創立90周年記念を踏まえて、グランドデザインが作成されており、広沢小の学校教育目標が分かりやすい言葉と具体的なデザインで表されていて、協議会委員全員が教育目標と目指す学校像を理解し熟議することができた。
- 今年度重点的に取り組む「かいけつする力」の育成や「主体的で楽しい学び」について理解し、熟議することができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 校外学習の場を提供していただいている団体・事業者やクラブ活動における方々など、地域の教育的資源を発掘し、継続させていく取組みについて熟議をすることができた。
- 学校運営協議会委員が読み聞かせボランティアや図書館ボランティア、大掃除ボランティアに参加し、委員自ら絵本を通して子供たちとの時間を共有し、交流を図ったり、図書室や教室の環境整備の支援をしたりして、学校の現状を把握することができた。これを熟議する際の参考にしていきたい。
- 広沢小見守り隊のあり方や地域の方々との関わり方について熟議をすることができた。
- 「広沢小学校いじめ防止基本方針」の具体的な取組みについての説明やICTを活用した個別最適な学びの授業参観などを通して、子供たちの「かかわる力」や「かいけつする力」の育成を実施していることを認識し、熟議を進めることができた。
- 管理職や担当だけでなく、教職員も会に参加し、委員と一緒に熟議をすることに挑戦できた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- CSだよりや学校だより「くすのき」、ホームページ等において、協議会の様子や結果について情報発信していた。
- 所属する自治会の役員会、地区社協の会合等の活動の場で協議会の情報発信を行った。
- 地域に対しての発信が十分かと言えば、多少疑問がある。広沢小学校を地域全体でよりよくしていくためには、情報の発信の仕方や内容、発信先も検討していくべきだと感じる。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- クラブ活動や音楽部の地域移行等、継続して地域人材の活用について熟議していく必要がある。
- 定着しつつある広沢小見守り隊の認知度を一層高め、持続可能な取組みになるように、さらなる地域との連携を図っていく。
- 外部への発信に加え、教職員の学校運営協議会に対する理解を深めるために、参加の仕方や会への関わり方を工夫する。